

井手運送

森林整備でCO<sub>2</sub>削減

エコアクション21取得

【佐賀】井手運送（井手郁夫社長、佐賀県鳥栖市）は「われわれは今から生まれてくる子供たちのために、今以上の地球環境を受け渡す義務がある。企業と地球環境の調和を目指し、物流企業として社会的責任を果たす」を環境理念に掲げ、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）排出量の削減や省エネルギーに

努めている。環境経営システムの在り方を定めた環境省の認証制度「エコアクション21」を取得。環境関連法の順守や輸送に伴う資源の有効活用、廃棄物削減、環境保全管理、推進体制の構築と運用、全社員の意識改革と活動状況の公開を押し進める。デジタルタコグラフでド

ライバーの運転特性を詳細に分析し、速度やエンジン回転数、アイドリング時間などの要素を点数化。エコドライブのランキングを公表し、奨励金制度とリンクさせてモチベーションを高める。また、燃費、水使用量、購入電力、液化石油ガス（LNG）使用量、廃棄物削減、

独自の森林整備を展開



太陽光発電量の各項目で、単年度目標と中・長期目標を設定。PDCA（計画→実行→評価→改善）サイクルで進ちよく状況をチェック

クし、環境パフォーマンスを向上させる。

福岡県内に井手運送が保有する森林（44万8800平方メートル）で、独自の森林整備事業を展開する。経営陣をはじめ、従業員がローテーションで山に入り、下草刈りや間伐を行う。毎月、枝打ちや排水溝、林道、小川の清掃に汗を流す。井手浩次常務は「CO<sub>2</sub>削減による温暖化防止は全産業が抱える課題。樹木の育成やエコドライブで環境保全に寄与していきたい」と話す。

（上田 慎二）